

そなえあれば
うれいなし

西 淀

防災Times

No.4 令和7年2月19日

12月24日(火)に教職員の防災意識の向上を目的に、昨年度に引き続き校内での防災研修を行いました。今回の『西淀防災Times No.4』では、その防災研修で学んだこと、取り組んだことを紹介します。

令和6年能登半島地震の教訓から考える みんなで助かるための学校防災



大阪府教育庁学校防災アドバイザーの湯井恵美子様より、学校防災についての話がありました。湯井さんは、防災アドバイザーとして他の支援学校でも多く指導助言をされており、本校でも令和4年度から助言をいただいています。

最初に、令和6年1月に発生した能登半島地震についての話がありました。自宅で被災し、ライフラインが停止した寒冷期の中で体調を崩して亡くなった方が多いことを知りました。みなさんは、ライフラインの復旧はどの順番で行われるかご存じでしょうか？

ライフラインは電気→水道の順番で復旧されることがほとんどです。電気は数日で復旧しますが、水道は被災状況によっては数ヶ月以上かかる場合もあります。水道の復旧に時間がかかる理由は、水道管や住宅に水を送るための配管が修繕されないと届かないからです。では、断水が続く中で生活に一番困ることは何でしょうか？

洗濯ができない、手が洗えない、お風呂に入れない…など、いろいろと思い浮かぶかもしれませんが、一番困るものはトイレです。能登半島地震でも、近隣のビニールハウスで避難していた女性が、トイレが使用できないため近くの畑へ向かう道中で転倒し、動けないまま低体温症で亡くなったケースがあったそうです。また、水がないと掃除もできないため、不衛生な状態になってしまいます。そのため、**家庭や学校で最低1週間分は、災害用トイレの準備をした方がよい**とアドバイスをいただきました。

災害用トイレの紹介

<p>①便座に被せるタイプ</p> 	<p>水で流れなくなった便器に袋を取り付ける災害用トイレです。おむつ類と同様、用を足した後に口を結んで捨てて使います。</p> <p>このタイプの災害用トイレの中には、凝固剤がついているものがあります。用を足した後に凝固剤を入れて固めつつ、ニオイも閉じ込めてくれるので、衛生面に困らずに捨てることができます。</p>
<p>②折りたたみタイプ</p> 	<p>キャンプ等でよく使われる簡易トイレですが、災害用トイレとしても便利です。折りたたみ式なので誰でも持ち運びが簡単で、コンパクトに家庭で収納することもできます。</p> <p>必要な場面ですぐに広げて袋を取り付けるだけで使用することができます。</p>

他にも、能登半島にある石川県立七尾特別支援学校の対応や、家庭と学校での避難方法を共有する必要性についてお話いただきました。

校内の防災グッズを知ろう！体験しよう！

講演後は4つのブースに分かれて、グループごとに体験型の研修を行いました。
各ブースで取り組んだことを紹介します。

①災害時に充電できるグッズやソーラーパネルの使い方を知ろう

	持ち運び	容量	速度	長期保存	備考
充電式	◎	○	◎	△	・費用がかさむ ・容量が増えるほど充電時間が長くなる ・急速充電機能のついたものが多い
充電式(大容量)	△	◎	○	△	・使った後充電が必要 ・大容量のため、充電器も購入が必要 ・登山用など、多機能なものが多い
乾電池式	○	×	×	○	・電池切れのリスクがある ・充電器も必要
手回し式	○	×	×	○	・充電の速さが遅い ・充電の容量が小さい ・充電の容量が小さい
ソーラー式	○	×	×	○	・充電の速さが遅い ・充電の容量が小さい
マグネ式	△	○	○	△	・水(水筒)で充電できる ・充電の速さが遅い ・充電の容量が小さい
シガー式	×	○	×	△	・車のシガーソケットが必要 ・ACアダプターが必要
発電機	×	◎	○	○	・充電の速さが遅い ・充電の容量が小さい

●自分や家族のスマホバッテリー容量を知っていますか？

容量(%)
充電器

iPhone15 3300mAh
iPhone13 2900mAh

●災害用充電器を準備していますか？
準備しているものを教えてください

充電式
充電式(大容量)
乾電池式
手回し式
ソーラー式
マグネ式
シガー式
発電機
わからない

本校にある発電関連のグッズについて紹介しました。実際に被災した方が、災害時に「あってよかった」「なくて困った」と感じた物の1位は**スマホ充電器**だそうです。避難所に充電場所が設けられていることが多いものの、多くの人が利用するので満足に充電できない方が多かったようです。

そこで、このブースでは、充電器の種類は何かあるのかを知ったり、学校にある手回し発電機を実際に操作したりして学び、先生方にアンケートもとりました。

先生方の中には、「水と塩だけで充電できるマグネ式があるなんて知らなかった。」「モバイルバッテリーを持っていなかったの、今回を機に購入を考えようと思った。」という声がありました。

【質問内容】

災害用充電器を準備していますか？

【アンケート結果】(重複あり)

用意していない	9	ソーラー式	4
充電式	27	マグネ式	0
充電式(大容量)	5	シガーソケット式	4
乾電池式	6	発電機	0
手回し	10	わからない	0

②ベルカ・抱っこ紐を使ってみよう



救護用折りたたみ式担架『ベルカ』を使って、教員1人を持ち上げて体育館内を移動するという体験をしました。

ベルカとは、緊急時に歩行が困難な人を1～6人で運ぶことができる折りたたみ式の担架で、緊急時・災害発生時の移動の手助け・救助に最適なものです。

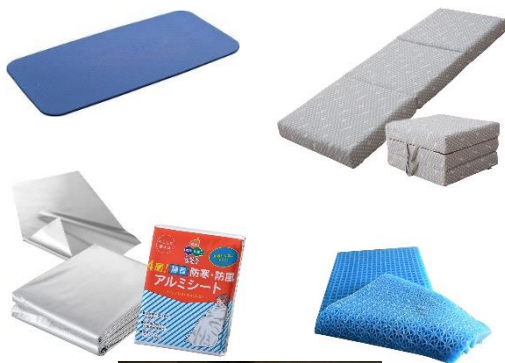
【体験内容】

- ・グループのうち1人が要救助者としてベルカに寝転ぶ。
- ・6人がそれぞれの持ち手を握り、持ち上げる。
- ・指示者の誘導に沿って、担架で体育館内を移動する。

【Point !】

- ・頭に近い人がリーダーとなって合図を出し、息を合わせて立ち上がり頭側に移動を開始する。
- ・救助者に常に声をかけることが安心につながる。

③寝てみよう



“夜の避難所”という設定で部屋を暗くし、ランタン1つの灯りで段ボールベッドを組み立てる体験や様々なマットで寝る体験をしました。

①段ボールベッドを組み立ててみよう！

ランタンで照らす人、説明書を読んで指示を出す人、組み立てる人、など役割を分けて行いました。箱を組み合わせる部分が難しかったようですが、どのグループも素晴らしいチームワークで完成させることができていました。メーカーによると組み立て時間は約10分ですが、なんと5分かからずに完成させたグループもありました！先生方からは「災害時に初めて作るとなると難しそうなので、体験ができて良かった」「結構作りがしっかりしていた」「少し暖かい」などの声がありました。

②寝てみよう！

災害が起こり、学校から動けなくなった場合に使用するマットに寝る体験をしました。先生方は、体験の中で「〇〇さんはきっとこれくらいのマットが良さそう」など様々なことを考えながら体験していました。また、アルミシートも布団のようにかぶると意外と暖かいことに驚いていた先生もいました。

④簡易トイレを使ってみよう、避難はしごを外へかけてみよう



① 簡易トイレを使ってみよう！

まず、1人用簡易テントを組み立ててみました。キャンプ等で使用した方も多くありますが、初めてでもパツと広げるだけで組み立てることができました。

次に簡易トイレを組み立て、テントの中でトイレに座ってみました。「外からは見えないと聞いてもやはり不安」「外から開けられるのではないかと不安」との声がありました。湯井さんのご講演でも「性被害はトイレで発生することが多い」とありました。設置については、細やかな配慮が必要ですね。

その後、凝固剤で固める体験もしました。「次の人が気持ちよく使えるように」日常でももちろん、避難生活ではより一層大事な心配りですね。

② 避難はしごを外へかけてみよう！

職員室右奥に設置されている避難はしごを2階廊下からかけてみました。今回は安全を期し、1階から数段上がる体験をしました。2階の固定箇所は頑丈ですが、1階で複数の教員が支えても、はしごを上るときには揺れて怖かったです。